



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月13日

上場会社名 株式会社カネカ

上場取引所

東

コード番号 4118

URL <https://www.kaneka.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤井 一彦

問合せ先責任者(役職名) IR (Investors Relations) 部長 (氏名) 井ノ口 敦也 (TEL) 03-5574-8090

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日~2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	223,025	12.3	14,944	83.1	13,750	127.7	8,941	109.8
2026年3月期第1四半期	198,682	0.2	8,161	△20.6	6,038	△40.5	4,261	△39.4

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 11,129百万円(143.7%) 2026年3月期第1四半期 4,567百万円(△70.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	148.46	147.90
2026年3月期第1四半期	67.74	67.53

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	983,013	527,734	51.3
2026年3月期	959,154	521,669	52.0

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 504,193百万円 2026年3月期 498,656百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	80.00	—	80.00	160.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		105.00	—	105.00	210.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	820,000	1.0	36,000	9.4	32,000	10.8	31,500	523.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規1社(社名)株式会社カネカコリア、除外1社(社名) AB BIOTICS PTE. LTD.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2027年3月期1Q	63,000,000株	2026年3月期	63,000,000株
2027年3月期1Q	2,857,530株	2026年3月期	2,774,693株
2027年3月期1Q	60,227,163株	2026年3月期1Q	62,909,810株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無
法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

- ・当社は、2026年8月13日に、機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期の財政状態の概況	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(セグメント情報等の注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

➤ 世界経済の状況 ―景気悪化への警戒感が続く―

軍事的緊張が収まらず、世界経済は混迷が続いています。

欧米はインフレ懸念が高まっている。中国は内需が回復しない、日本は円安による物価上昇が景気を下押しする懸念がある。

中東情勢の安定化に向けた道筋が見えないなか、依然として景気の悪化に対する警戒感が続いている。

➤ 当社グループの業績 ―増収増益―

このような状況下、当社グループの当期（2026年4月～2026年6月、以下1Q）の業績は、売上高223,025百万円（前年同期比12.3%増）、営業利益14,944百万円（前年同期比83.1%増）、経常利益13,750百万円（前年同期比127.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益8,941百万円（前年同期比109.8%増）となりました。

売上高・営業利益・経常利益・四半期純利益いずれも前年同期を大きく上回りました。

2027年3月期 第1四半期 連結業績 (単位：百万円)

	2026年3月期 1Q	2027年3月期 1Q	増減
売上高	198,682	223,025	24,342 (12.3%)
営業利益	8,161	14,944	6,783 (83.1%)
経常利益	6,038	13,750	7,711 (127.7%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,261	8,941	4,679 (109.8%)

セグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2026年3月期 1Q	2027年3月期 1Q	増減	2026年3月期 1Q	2027年3月期 1Q	増減
Material SU	82,374	94,444	12,069 (14.7%)	6,265	10,858	4,592 (73.3%)
Quality of Life SU	48,466	53,849	5,382 (11.1%)	5,208	7,006	1,797 (34.5%)
Health Care SU	18,273	22,026	3,753 (20.5%)	3,131	3,486	354 (11.3%)
Nutrition SU	49,310	52,434	3,123 (6.3%)	2,680	3,363	682 (25.5%)
その他	257	270	13 (5.1%)	128	140	11 (9.1%)
調整額	—	—	—	△9,254	△9,910	△655 (-)
計	198,682	223,025	24,342 (12.3%)	8,161	14,944	6,783 (83.1%)

➤ **全社業績についてのRemarks**

1Qは、中東情勢の緊迫化に端を発した石化サプライチェーンの動揺や各国の経済動向など不透明な事業環境に緊急対応し、市場の信頼に応えることができました。原材料コストの上昇にも価格改定を通じ機動的に対応しました。

当社は、差別化力ある製品を安定的に市場に供給し続けることを最大使命としています。原材料の調達力、物流を含む製品の供給力の発揮に努め、製品価格の改定も適切に実施できました。

また、Health Care領域やSupplementでは引き続き販売が拡大しています。目指すポートフォリオの姿に向かって着実に進んでいます。全てのユニットで増収増益となり、前年4Qの業績を超えることができました。強いモメンタムが加速しています。

各セグメントの状況は次のとおりです。

① **Material Solutions Unit**

当ユニットは、価格改定により全体で増収増益となりました。

- Vinylsは、安定供給に徹底して取組み、製品価格に反映することができました。増収増益となりました。
- MODは、全拠点で販売が堅調に推移しました。差別化製品を求める声に応え、安定供給を実現することができました。価格改定に繋がり、増収増益となりました。MXは販売が拡大しています。
- MSは、他材料からの置換が進み、販売増となりました。ユニークな機能特性を持つ製品の安定供給を最優先し、原料高騰に対する価格改定に取り組み、増収増益となりました。
- Green Planet®は、人工芝への採用など新しい用途が広がり、着実に社会実装が進んでいます。今後も世界のブランドホルダーとの協業により、カトラリー・包装材などが国内外で採用増加する見通しです。

② **Quality of Life Solutions Unit**

当ユニットは、全体で増収増益となりました。

- Foamは、市場供給がタイトとなるなかで安定供給を実現し、農水産・建築分野で販売が増加しました。コストダウンにも努め、安定供給を継続できたことが価格改定に繋がり、スプレッドが改善しました。
- E&Iは、大型液晶TV向けの光学用フィルムが好調な販売となりました。ポリイミドフィルムがスマートフォン市場の生産調整の影響を受けて伸び悩みましたが、全体としては増収増益となりました。
- PVは、国内戸建て住宅向け高効率太陽電池の販売が堅調です。タンデム型ペロブスカイト太陽電池の量産技術の開発を進めています。
- Fiberは、頭髮製品および難燃ファブリック分野が堅調に推移しました。製品ラインアップが拡充し、さらなる市場拡大が進んでいます。

③ **Health Care Solutions Unit**

当ユニットは、強いMedicalが全体を牽引し、増収増益となりました。

- Medicalは、血液浄化器・カテーテルともに販売が拡大し、大幅な増益が続いています。海外向けの拡販も進み、M&A（EndoStream社やゼオンメディカル社事業）が業績に貢献し始めています。
- Pharmaは、前年4Qでの販売集中が影響し、出荷は振るいませんでした。低分子・バイオ医薬品における開発力の強化により、新規案件の獲得を進めています。

④ Nutrition Solutions Unit

当ユニットは、販売好調なSupplementと、収益性が向上したFoodsのモメンタムが重なり、増収増益となりました。

- Supplementは、米国・アジアを中心に還元型Q10が大幅な販売増となりました。乳酸菌も着実に伸びています。
- Foodsは、高付加価値品へシフトし価格改定にも取り組みました。「B2C」製品のさらなる拡販を進めます。

(2) 当四半期の財政状態の概況

1Q末の総資産は、棚卸資産、有形固定資産の増加などにより、前期末に対して23,858百万円増加の983,013百万円となりました。

負債については、仕入債務、借入金の増加などにより17,793百万円増加の455,278百万円となりました。

純資産については、配当支払いおよび自己株式の増加の一方、利益剰余金の増加などにより6,064百万円増加の527,734百万円となり、自己資本比率は51.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2Q以降も、不安定な予断を許さない事業環境が続きます。極めてボラティリティの高い状況と想定しています。一部ではさらに原価の上昇が続く見通しであり、引き続きスプレッドを守ることに努めます。

重点領域であるHealth Careでは、Medicalの新製品拡販と販売地域の拡大、Pharmaの低分子・バイオ医薬品の新規案件獲得が進む見通しです。

QOL領域では、E&Iで高付加価値グレード（高周波PI・光学用アクリル樹脂改良品など）の拡販が見込まれます。Fiberも需要が堅調に推移する見通しです。

Nutrition領域では、Supplementは、米国・アジアを中心に還元型Q10の増販が進み、Foodsは、高付加価値品の拡販と価格改定による収益改善を見込みます。

Material領域では、Vinylsはスプレッドの安定化を図り、MODは高付加価値品（非塩ビ・MX）の拡販、MSはセメダイン協業による拡販を進めます。

以上より、2026年5月14日公表の連結業績予想は変更いたしません。

今期の業績見通しの確度が高まった段階で速やかに予想を修正のうえ、公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,973	52,576
受取手形、売掛金及び契約資産	163,638	162,756
電子記録債権	18,730	20,348
商品及び製品	110,765	117,616
仕掛品	17,396	17,783
原材料及び貯蔵品	75,634	82,931
その他	30,465	32,212
貸倒引当金	△1,885	△1,910
流動資産合計	465,718	484,314
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	108,601	108,188
機械装置及び運搬具（純額）	125,864	127,264
その他（純額）	121,314	124,543
有形固定資産合計	355,780	359,996
無形固定資産		
のれん	2,213	2,146
その他	30,949	31,058
無形固定資産合計	33,163	33,204
投資その他の資産		
投資有価証券	52,139	52,649
退職給付に係る資産	34,035	34,206
その他	18,699	19,018
貸倒引当金	△382	△375
投資その他の資産合計	104,492	105,498
固定資産合計	493,436	498,698
資産合計	959,154	983,013

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	81,006	88,001
電子記録債務	5,245	5,625
短期借入金	139,531	153,469
未払法人税等	9,480	4,402
引当金	2,117	1,214
その他	66,673	69,782
流動負債合計	304,056	322,496
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	59,045	58,592
引当金	861	793
退職給付に係る負債	20,076	19,915
その他	38,445	38,481
固定負債合計	133,429	132,782
負債合計	437,485	455,278
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,046	33,046
資本剰余金	30,084	30,091
利益剰余金	359,255	363,639
自己株式	△11,400	△11,865
株主資本合計	410,986	414,912
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,556	23,905
為替換算調整勘定	37,225	39,266
退職給付に係る調整累計額	26,887	26,107
その他の包括利益累計額合計	87,669	89,280
新株予約権	770	757
非支配株主持分	22,241	22,783
純資産合計	521,669	527,734
負債純資産合計	959,154	983,013

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
売上高	198,682	223,025
売上原価	144,469	157,446
売上総利益	54,213	65,579
販売費及び一般管理費	46,052	50,635
営業利益	8,161	14,944
営業外収益		
受取配当金	832	675
為替差益	-	336
持分法による投資利益	13	54
その他	417	323
営業外収益合計	1,263	1,390
営業外費用		
支払利息	1,013	1,094
固定資産除却損	723	943
為替差損	1,136	-
その他	513	545
営業外費用合計	3,386	2,584
経常利益	6,038	13,750
特別利益		
投資有価証券売却益	1,075	-
特別利益合計	1,075	-
特別損失		
訴訟関連費用	261	330
特別損失合計	261	330
税金等調整前四半期純利益	6,852	13,419
法人税、住民税及び事業税	2,550	4,161
法人税等調整額	△294	△237
法人税等合計	2,255	3,923
四半期純利益	4,596	9,496
非支配株主に帰属する四半期純利益	335	555
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,261	8,941

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	4,596	9,496
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△396	342
為替換算調整勘定	536	2,071
退職給付に係る調整額	△170	△779
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	△29	1,633
四半期包括利益	4,567	11,129
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,027	10,551
非支配株主に係る四半期包括利益	540	578

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Material Solutions Unit	Quality of Life Solutions Unit	Health Care Solutions Unit	Nutrition Solutions Unit	計				
売上高									
外部顧客への売上高	82,374	48,466	18,273	49,310	198,425	257	198,682	—	198,682
セグメント間の 内部売上高又は振替高	66	18	19	17	122	367	489	△489	—
計	82,440	48,484	18,292	49,328	198,547	625	199,172	△489	198,682
セグメント利益	6,265	5,208	3,131	2,680	17,287	128	17,415	△9,254	8,161

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない損害保険・生命保険の代理業務等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	17,287
「その他」の区分の利益	128
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△9,260
その他の調整額	6
四半期連結損益計算書の営業利益	8,161

(注) 全社費用は主に特定の報告セグメントに帰属しない基礎的研究開発費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Material Solutions Unit	Quality of Life Solutions Unit	Health Care Solutions Unit	Nutrition Solutions Unit	計				
売上高									
外部顧客への売上高	94,444	53,849	22,026	52,434	222,754	270	223,025	—	223,025
セグメント間の 内部売上高又は振替高	102	29	—	18	150	370	520	△520	—
計	94,546	53,879	22,026	52,452	222,905	640	223,546	△520	223,025
セグメント利益	10,858	7,006	3,486	3,363	24,714	140	24,855	△9,910	14,944

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない損害保険・生命保険の代理業務等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	24,714
「その他」の区分の利益	140
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△9,910
その他の調整額	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	14,944

(注) 全社費用は主に特定の報告セグメントに帰属しない基礎的研究開発費であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	11,532百万円	12,064百万円
のれんの償却額	202百万円	105百万円